

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

小羽山地区自主防災会

事業名	地域防災強化事業			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	132,133 円	助成金充当額	114,500 円	
事業対象者	全地区民対象防災訓練の実施	参加人数	104人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 連絡網作成 防災訓練の実施(2回) 防災センターへ研修視察 夜回り活動(年末年始の火の用心)			
事業目標	全地区民対象防災訓練の実施			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	防災訓練参加人数	100人	104人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 毎年定期的に行うことで、いざという時に対応できる防災意識を育てる。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 防災訓練の参加者が固定化しつつある。参加呼びかけをもっと積極的に行う必要がある。 又、訓練内容も防災危機管理課と相談しつつ、マンネリ化している。しないように工夫が			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	健康づくり事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	196,661円	助成金充当額	196,661円	
事業対象者	地区在住成人男女	参加人数	51人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 健康診断を地区行事毎に行っていたが、今年度から「測って知って体改善in小羽山」と銘打ち、年2回健康維持に関する数値測定を行う。 計測数値をデータ化し、個人の健康維持の参考にしよう。そして、データ値の推移から読み取れる病気の傾向等を理学療法士と市保健師より、アドバイスをもらう。			
事業目標	血圧測定の習慣・食生活の工夫・運動習慣を身につけてもらう。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	データ化する登録者数	50人	51人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 達成出来た			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地区だよりに行事後の測定数値を分析・解析して掲載することにより、健康意識の高揚と新規参加者の促進効果が見られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) コロナ禍で、一回しか開催できなかった。 その上、一回の行事の参加制限・時間制限を設けなければならなかったが、今後は運営方法や会場キャパシティを考慮して行う必要がある。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

学校運営協議会

事業名	コミュニティスクール活動			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	75,000円	助成金充当額	75,000円	
事業対象者	小羽山小学校・桃山中学校関係者、全地区民	参加人数		
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 学校運営と地区民の関わりの手助け			
事業目標	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	(達成できた、又は、できなかった要因)			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地区の子供たちが誇りを持てる地域づくり 地区住民が学校行事に参加できる環境づくり			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) デジタルトランスフォーメーションを通じて、子供たちの興味のある地区行事を企画運営していきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

小羽山地区連合親寿会

事業名	高齢者対象事業			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	100,000 円	助成金充当額	100,000 円	
事業対象者	60歳以上の地区民	参加人数	120人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 地区内奉仕活動 各種サークル活動 親寿会だより(毎月)の発行			
事業目標	会員数の増加活動、会員間の交流の活性化、地区内住民間と交流機会を増やす			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	親寿会会員数	200	170人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 出来なかった : 新規加入者を増やすべく啓発活動をしているが、団体行動を嫌がり入会を控える方が増えていることと現会員さんの高齢化で離脱者も増えている。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 会員間の親睦、会員の健康維持が図られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 他団体の協力も求めながら、会員や地区民が興味を持てる企画を考え、活動内容をひろく地区に知ってもらいもっと魅力ある活動団体にしたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

体育振興会

事業名	スポーツ大会事業			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	321,561円	助成金充当額	150,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	154人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) スポーツレクリエーション(ポッチャ・カローリング)大会2回開催			
事業目標	参加者の増加を図る			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	4回のレクリエーション大会参加者	300人	154人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍の影響はあったと思われる。 レクリエーション種目のマンネリ化と運営企画力に問題がある。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 普段余り交流のない方々同士、汗をかくことで親しい関係になった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 高齢者だけではなく、広く地区内から参加者を増やすことが必要。 児童生徒の参加を促し、多世代がスポーツを通して交流している地区づくりを目指したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

小羽山環境衛生連合会

事業名	環境美化事業			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	127,988 円	助成金充当額	104,000 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	108人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ゴミの分別指導 環境美化活動			
事業目標	ごみを出さない・資源のリサイクルを考える地区づくり			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	空き缶拾い事業参加者数の増加	120名	108名	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ごみ減量の機運は高まっているが、コロナ禍で参加者が増えなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 資源ごみの分別化がより図れた。 ごみの不法投棄が減ってきている。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくため課題や改善点など) 資源ゴミ分別のエキスパートの養成 地区環衛連の会議や地区内活動団体の会議招集時に「分別の講習会」を行ってみたい			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

ふれあい運動推進委員会

事業名	青少年の見守り活動			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	170,000 円	助成金充当額	100,000 円	
事業対象者	地区在住青少年	参加人数		
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 小中高生徒の夜間徘徊行動・不良行動の見守り活動 いじめ問題・DV問題等の相談業務			
事業目標	青少年の健全育成 挨拶運動の推進			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	地区内で万引き犯を出さない	0人	0人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 見回りを定期的に行うことで、犯罪抑止効果は確実にあると思われる。 商店主の方たちからも感謝と労いの言葉をいただいている。 挨拶を通して明るい町づくりの提唱により、中学生達の返事が少し増えてきているようだ			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 事業推進役の会員数が確保しにくい現実がある。地区内で会員数の増加に取り組みたい。			
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

防犯部会

事業名	防犯対策事業			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	79,034 円	助成金充当額	50,000 円	
事業対象者	全地区民	参加人数		
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ● 防犯パトロールに依る犯罪抑止 ● 勉強会を兼ねて会議を行い情報を共有する ● 地区民に啓発活動をする			
事業目標	年金受給日に金融機関の窓口でピラ配り・声掛けを行い犯罪を未然に防ぐ			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	地区内の振り込め詐欺被害者を無くす	0人	0人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 防犯意識を高め、犯罪の無い安心・安全な町づくりの推進			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) このまま犯罪の無い、安心して住める町づくりを目指したい			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

交通安全全部長会

事業名	交通安全活動			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	52,000 円	助成金充当額	52,000 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	32人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 朝夕の通学児童の見守り活動 交通安全の啓発活動			
事業目標	地区内の交通事故を減らす			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	歩行者対象事故	0件	0件	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 達成出来た。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地区内幹線道路の通行車両の制限スピードが抑えられている			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 各自治会から選出される交通委員の資質に問題あり。 責任感持たずに参加するので、一部のメンバーに負担がかかっている。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 小羽山コミュニティ推進協議
会

事業名	地区行事運営活動			
事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月			
決算額	208,756 円	助成金充当額	179,939 円	
事業対象者	全地区住民	参加人数	約100人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 地区行事の実施運営 行事運営の物品整備 地区活動団体へ人材助成 地区内(ふれあいセンター付近)の美化整備			
事業目標	新しい行事(健康づくり事業、物知り博士、新生活様式対応)の成功			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	行事参加者(延べ人数)	50人	46人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 数値目標は達成できなかったが、 新事業企画運営の為、地域内の若い人材・協力者の発掘が出来た。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) コロナ禍で祭り行事は行えなかったが、新しい行事は全て運営まで行えた。 新しい行事をおこなうことで、地区内の若い次世代を担う人材も発掘できた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 新しく始めた行事を次年度以降も引き続き行っていくことと、若い世代に行事運営を任せることで地区行事の参加者の層が厚くなることを期待したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

小羽山地区社協

事業名	地域福祉の推進活動事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	575,745 円	助成金充当額	50,000 円	
事業対象者	高齢者、乳幼児、児童	参加人数		
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 高齢者福祉対策 (老人クラブ活動への支援、地域サロン事業への支援) 児童の見守り活動への支援 子育て家庭への支援			
事業目標	小羽山生活応援隊の利用促進			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	一人暮らしの高齢者の利用者	20人	7人	
	小羽山生活生活応援隊活動の周知不足の為か、利用者が思うように増えなかった			
事業効果	生活応援隊利用者からは「とても助かった」と喜ばれた 一度利用された方は、何度も繰り返し利用されていた			
今後の課題等	広報誌等で利用者増加の推進を行うと共に、支援隊員の加入も図りたい			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	①	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③